

令和6年度（2024年度）

金沢大学法科大学院

小論文試験

B日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は6枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないでください。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

令和6年度（2024年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

次の文章は、中谷巖『「AI資本主義」は人類を救えるか 文明史から読みとく』（NHK出版、2018年）の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにする、表題を省略するなど、原文の一部に改変を加えてある。

問1 (40点)

筆者は、「排除の論理」を、そろそろ根本的に見直さなければいけない段階に来たのではないかと述べる(下線部①)。「排除の論理」と資本主義における「資本の論理」の内容及び両者の関係を説明したうえで、筆者が下線部①のように考える理由について400字以内でまとめなさい。

問2 (60点)

筆者は、AI資本主義を迎えたいま、私たちには「排除の論理」から「包摂の論理」へのパラダイム転換が必要であると述べる(下線部②)。筆者が述べる「包摂の論理」について説明したうえで、下線部②の筆者の見解について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。